

県民の皆さんとめざす姿

県民生活や事業活動の中で自然環境への配慮が浸透し、生物多様性をはじめとする自然環境を県民の皆さんやNPO、事業者などさまざまな主体が自主的に保全・再生する社会が形成され、三重県の豊かな自然が継承されています。また、県民の皆さんと自然とのふれあいや野生鳥獣との共存が進み、自然資源の持続可能な活用により自然からの恩恵が享受されています。

現状と課題

- 里地・里山が利用されなくなったことや干潟の減少などにより、生物多様性などの自然環境の質が低下していることから、希少野生動植物種をはじめとする自然環境の現状を明らかにして、みんなで保全する活動を行い、希薄になりつつある人と自然とのつながりを再生していくことが求められています。
- 野生鳥獣による農林水産業等への被害や、希少植物の食害が社会問題となっており、増えすぎた野生鳥獣を適正な生息密度に誘導することが求められています。
- 優れた自然景観や希少野生動植物の生息環境などを保全するため、開発などに伴う負荷の低減が求められています。
- 近年のアウトドアブームや、エコツーリズムの広がりに対応した、利用しやすく安全な自然公園施設等の整備や効果的な情報発信が求められています。また、自然歩道等の自然の中の施設について、利用者と共に管理を行う仕組みも求められています。

変革の視点

農林水産業等への被害の大きい野生鳥獣の保護管理のあり方を見直し、捕獲に係る制限緩和などにより適正な生息密度に誘導します。また、生物多様性の調査や計画策定を専門家や県民の皆さんと共に行うことで、さまざまな主体の自発的な自然を守る行動を促進して、自然との共生を進めます。

平成 27 年度末での到達目標

生物多様性をはじめとする自然環境の保全の方向性の明確化や、保全活動のサポート機能を充実することで、県民の皆さんや事業者、NPO による生態系や希少野生動植物、里地・里山・里海の自主的な保全活動が活発に行われています。

また、こうした取組をとおして、県民の皆さんが自然とのふれあいや地域への愛着を深めながら暮らすとともに、増えすぎた野生鳥獣の生息密度が減少し、適正な状態で管理されています。

県民指標

目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
生物多様性の保全活動実施箇所	34 箇所	74 箇所	絶滅のおそれのある野生動植物種の保護活動および里地里山の保全活動の実施箇所数の合計

平成 24 年度の取組方向

- 県民の皆さんの参画を得て「三重県レッドデータブック」の更新作業をすすめ、県内の希少野生動植物の現状把握を行います。また、専門知識や必要な情報の提供などを行い、NPO 等が行う希少野生動植物の保全活動等を支援します。
- 身近な自然環境や生物の多様性から、私たちが享受している恩恵や、その利用を持続可能なものとする必要性について普及啓発を行います。
- 農林産物被害の大きいニホンジカやイノシシ、ニホンザルについて、捕獲頭数の制限緩和などにより捕獲を促進し、適正な生息密度への誘導と被害の軽減を進めます。
- 自然公園や三重県自然環境保全地域等を適正に管理し、優れた自然の保全や生態系の維持回復を進めます。
- 自然公園施設等の災害復旧を進めるとともに、情報発信などを行い自然公園等の利用を促進します。また、自然環境に配慮した河川や海岸の整備・保全を進めます。

主な事業

- ① (新) こどもたちと調べるみえの自然再発見事業 (農林水産部)
【基本事業名: 15301 生物多様性保全の推進】
(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 11 野生生物共生費)
予算額: (23) — 千円 → (24) 6, 000千円
事業概要: 三重県レッドデータブックの更新と、子どもたちが参加する生物多様性にかかる観察会を行います。
(観察会 5回開催予定)
- ② (新) みんなで守る生物多様性保全事業 (農林水産部)
【基本事業名: 15301 生物多様性保全の推進】
(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 11 野生生物共生費)
予算額: (23) — 千円 → (24) 1, 000千円
事業概要: 三重県指定希少野生動植物種など、三重県版レッドデータブックの絶滅危惧種に位置付けられる種を、生物多様性の観点から保全するための活動に対して支援します。
(シンポジウム開催 1回)
- ③ 野生鳥獣捕獲管理事業 (農林水産部)
【基本事業名: 15301 生物多様性保全の推進】
(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 12 農業経営対策費)
予算額: (23) 21, 048千円 → (24) 20, 431千円
事業概要: 野生鳥獣の保護を図るため、鳥獣保護員を配置するとともに狩猟の取り締まりや指導、狩猟免許の更新時講習などを行います。
(狩猟免許試験 3回開催)
- ④ 野生鳥獣生息管理事業 (農林水産部)
【基本事業名: 15301 生物多様性保全の推進】
(第6款 農林水産業費 第1項 農業費 12 農業経営対策費)
予算額: (23) 9, 731千円 → (24) 5, 709千円
事業概要: 鳥獣保護事業計画に基づく鳥獣保護区等の指定や、特定鳥獣保護管理計画に基づく、ニホンジカの保護管理を進めるためのモニタリング調査などを行います。
(モニタリング調査1回 検討会4回)
- ⑤ 自然公園利用促進事業 (農林水産部)
【基本事業名: 15303 自然とのふれあいの促進】
(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 12 自然公園費)
予算額: (23) 28, 151千円 → (24) 26, 965千円

事業概要: 自然公園施設や自然歩道の適正な管理を行います。
(維持管理 7施設)

- ⑥ 自然に親しむ施設整備事業 (農林水産部)
【基本事業名: 15303 自然とのふれあいの促進】
(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 12 自然公園費)
予算額: (23) 15, 767千円 → (24) 18, 566千円
事業概要: 国定公園内の施設整備及び長距離自然歩道の補修・改良等を行い、利用者の安全な使用を促進します。
(整備箇所 6箇所)
- ⑦ 大杉谷登山歩道災害復旧事業 (農林水産部)
【基本事業名: 15303 自然とのふれあいの促進】
(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 12 自然公園費)
予算額: (23) — 千円 → (24) 27, 740千円
事業概要: 大杉谷溪谷の貴重な自然文化資産を多くの利用者に提供するため、平成16年の台風21号により被災を受けた登山歩道の復旧整備を行います。
(復旧延長 L=1.0km)
- ⑧ (新) 自然公園等施設災害復旧事業 (農林水産部)
【基本事業名: 15303 自然とのふれあいの促進】
(第6款 農林水産業費 第4項 林業費 12 自然公園費)
予算額: (23) — 千円 → (24) 11, 302千円
事業概要: 平成23年の台風15号により、自然公園等施設に被害が発生したため、利用者の快適、安全な利用に資するように、被災施設の復旧整備を行います。(復旧箇所 2箇所)
- ⑨ (新) 自然公園飛雪ノ滝野営場災害復旧事業 (農林水産部)
【基本事業名: 15303 自然とのふれあいの促進】
(第11款 災害復旧費 第3項 自然公園等施設災害復旧費 1 自然公園等施設災害復旧費)
予算額: (23) — 千円 → (24) 50, 000千円
事業概要: 紀伊半島大水害により甚大な被災を受けた、飛雪ノ滝野営場について、適切かつ安全な利活用を促進するため、被災施設の復旧整備を行います。